

Fusyo Collaboration letter

7月7日 No.18 文責 廣田 秀俊



附属小学校の使命

附属小学校の使命として、FUSYO VISION 2025 には3つの事柄を掲載しています。

① 地域教育への貢献

地域の先進的、先導的なモデル校として、大分県教育委員会と連携して実践し、情報を発信する

② 教育実習生への指導

地域の教育課題をふまえた教育実習を計画し、直接その指導にあたる

③ 大学への協力

教職大学院及び学部教員と協力し、教育理論と実践の往還を通じた実証的な研究を行う



そのうち②については、6月23日より大分大学の実習生の学びが始まっています。今年度も夏季休業前に1週間、夏季休業後に3週間の日程で2グループに分かれて約120名の実習が行われます。前半の1週間の観察実習では、授業観察を通して、基礎的・基本的事項を取り入れながら1時間のチャレンジ授業を計画していきます。チャレンジ授業では、担任から伝えられた指導計画を基に、一人一回の実践となります。児童の前での指導や児童の観察、記録等を通して、自己の付けたい力を明確にし、具体的な目標を持って本実習へとつながっていきます。



また地域教育の貢献へ向け、本年度は令和8年2月8日(土)に公開研究会を行います。校内研修主題“グローバルリーダーに求められるエージェンシーの育成～自己調整学習を通して～”の基、研修を重ねています。エージェンシー(主体性)とは、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任を持って行動する能力」と定義されています。このエージェンシー育成のために、本校では自己調整学習に取り組んでいます。自己調整学習とは、児童が能動的に学習活動に関わり、自身の学習を調整する学び方です。

学校だより No.10～14の授業紹介では、自己調整学習の具体的な実践について紹介しています。「自ら学ぶ子ども」の育成を目指した授業づくりを継続して取り組んでいます。この事柄は、大学とも連携し実践を積み重ねているところです。本校の使命をしっかりと果たしていこうと、教職員一丸となって今後も邁進していきます。

